

まちのくすりやさん 第29号

今回のおはなし

「薬物乱用はダメ！ゼッタイ！」

ザ・タバコ

Q&A



「使えば最後」一生後悔

薬物乱用はダメ！ゼッタイ！！

有名芸能人による覚せい剤や麻薬の乱用や大学生らによる大麻使用が相次ぎ、薬物が社会にまん延している実態が浮き上がりました。いわゆるドラッグはつかの間の幸福感や快感をもたらしますが、依存症になると回復までには何倍もの苦しみを味わわなくてはなりません。インターネットなどで手に入るようになったのも要因の一つです。合成麻薬「MDMA」は、「エクスタシー」とも呼ばれ、色々な薬物がファッションブルな名前で売られているので、軽い気持ちで始めてしまいやすく、特に女性に対して「やせ薬」と称して騙され、使用してしまうケースが非常に多いです。ドラッグには、覚せい剤やコカインのように気分を高揚させるものや、ヘロインのように鎮静作用のあるものがあります。一時的によい気分が得られるのは、薬物成分が脳内の「ドーパミン神経系」に作用するためです。1度だけの使用でやめるのが難しいところに恐ろしさがあります。いったん増えたドーパミンが減ると逆に不快感が強まり、また同じ薬が欲しくなります。使い続けると快感を得る効果は次第に耐性ができ、摂取量が増えていくため、どんどん深みにはまってしまう。薬物依存性が強まると、幻覚や幻聴などの精神的症状が生じてきます。特に「誰かに襲われる」「誰かに盗聴されている」といった、現実的で恐怖心をあおる幻覚や妄想が多いです。このため、他人に危害を加えたり、自分の体自体も傷つけたり、また MDMA などは、睡眠障害や記憶障害などの副作用が強く、大量に摂取すると場合によっては、急性腎不全などで死亡する可能性もあります。また、薬物には、乱用を中止した後、薬物を使用していないにもかかわらず、睡眠不足や過労、ストレス、飲酒等をきっかけに突然、幻覚、妄想などの精神異常が自然に再燃する現象「フラッシュバック」があり、一生苦しまなければならないようになります。

★依存薬物の俗称★ ※他にも沢山あります。

大麻：ハッパ・ポット・グラス・ウィード・エース

シンナー：アンパン

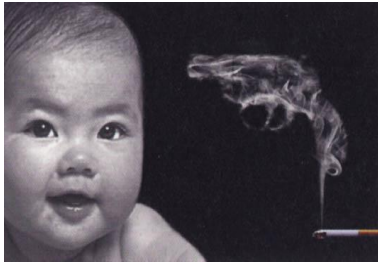
覚せい剤：シャブ・スピード・エス・アイス

コカイン：コーク・スノウ・ホワイト・フレイク

精神安定剤：バリウム・セラックス・トランジン

ガ・タバコ

妊娠中にタバコを吸うと……



- ①早産、低体重児
- ②乳幼児突然死症候群
- ③身長、体重の増えが悪い
- ④知能の発達が劣る
- ⑤キレる子供・犯罪者になりやすい

(加治 正行先生スライドより)

胎盤を通して、胎児もタバコを吸っています！！



インフルエンザで重症化するおそれのある「ハイリスク群」

病気など	重症化が心配される理由	治療・予防上の注意
糖尿病	白血球の働きや免疫が弱く、感染しやすい。感染による免疫反応で炎症性物質が増えるとインスリンの効果が悪くなり、血糖値が上がる。	早めに点滴等を受ける。血糖値の上昇に注意。
心臓疾患 血管の病気	発熱で脈拍が増え、心臓や血管に負担がかかる。利尿薬や降圧薬を併用している人が発熱すると、心臓の状態が悪化しやすい。脱水症状を起こすと血栓が生じやすくなる。	水分補給を適切に行う。高熱時は解熱薬を検討するが、種類は慎重に選ぶ。
ぜんそく	刺激に敏感なので、発作が誘発されることがある。感染に伴う免疫反応で生じる炎症性物質が多く、注意が必要。	リレンザは使えない。(粉末吸入式なので、刺激になる。)
慢性閉塞性肺疾患	呼吸機能が低く、肺炎を併発すると、特に危険。	リレンザは使えない。
人工透析	免疫力が低下し、病原体への抵抗力が弱い。	

※HIV 感染者、臓器移植者、アスピリン服用者、妊産婦、乳幼 乳幼児、高齢者、入院患者



外出後は、必ずうがい、手洗いを十分して下さい。

浦安市役所内 健康増進課 電話 351-1111 FAX 381-9083

市川健康福祉センター(保健所)「発熱相談センター」

電話 047-377-1101

(社) 浦安市薬剤師会 〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月~金: 10~15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス toiawase@urayaku.jp